

事業シート(令和7年度予算)

事業名	51100 農業委員会運営費				予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性		根拠計画	農業振興地域整備計画、過疎地域持続的発展計画		
						款	5	農林水産業費			ポイント					
						項	1	農業費			政策分野	5	産業・労働・プロモーション			
担当課	農政部 農務課	内線	2227			目	1	農業委員会費		分野別	施策分野	(1)	農業・林業・畜産業	市長公約	強く！～自然と向き合い暮らす強さ～ 農林畜産業において最強の産地、産品を創出します	

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・優良農地の保全と有効活用の観点から、農業委員会がより一層農地保全に資する客観的・中立的で公正な判断を行う。 ・農業委員会の効率的かつ透明な組織運営を行う。	概要	・農業委員会の審議・活動の「見える化」推進 ・農業委員会の総会の公開と、議事録の公表 ・日常的な「農地パトロール」の実施 ・遊休農地の発生防止と解消、違反転用の防止
----	---	----	---

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R5		R6			
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)	増減 (b)-(a)
		25,010	24,596	24,800			
特定財源	国費 ()						
	県費 (農業委員会費 10/10、県移譲事務交付金)	5,829	8,908	9,027			
	その他(農業者年金業務雑入)	980	1,008	1,000			
一般財源		18,201	14,680	14,773			
新規・拡充	主な事業内容						
	農業委員会委員報酬	6,407	6,407	6,407			
	農地利用最適化推進委員報酬	11,988	11,988	11,988			
	農業委員会委員報酬(地区委員)	1,980	1,960	1,980			
	委員1人1台タブレットによる現地調査の効率化	1,740	1,648	1,360			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

3.令和5年度事業実績、評価等(Check) R6.8実施

事業実績	・農業委員会の開催(13回) ・機関紙の発行(3回) ・農業委員、農地利用最適化推進委員合同によるブロック会議の開催(5ブロック×1回) ・県外視察研修の実施(岐阜県庁研修、三重県内農場視察) ・管内視察研修(久々野町) ・農業委員と市長との懇談会を開催 ・農業委員、農地利用最適化推進委員会 への参加 ・改選に伴う農業委員、農地利用最適化推進委員研修会を実施 ・改良組合等を通じ、全農家に農家意向アンケートを配布し、農地の規模拡大、縮小の調査を行い、出し手と受け手のマッチングを推進 ・行政に対して「意見書」を提出し、新年度事業の政策提言を実施(市1回、県1回)
評価等	・農業委員と農地利用最適化推進委員が連携し、農家意向アンケートによる情報を基にした担い手への農地集積・集約化、農地のマッチングに向けた取り組みを行った。 ・農業委員が支所地域の農地状況や耕作状況を把握するため、月例で開催する農業委員会を支所で開催した。(丹生川、久々野地域で計2回)
次年度以降の考え方(担当課)	・農地利用の最適化に向け、農業委員、農地利用最適化推進委員の連携した取り組みを進める。 ・地域計画の目標地図素案作成に向け、農業委員や農地利用最適化推進委員、地域との合意形成を築く。 ☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R5完了 ☐ R6完了予定

5.令和6年度事業実績、評価等(Check) R7.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R6完了 ☐ R7完了予定

4.令和7年度予算編成(Action)

R7予算		実施計画額	－
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減 (d)-(c)
24,938	24,920	24,920	120
6,206	5,967	5,967	△ 3,060
1,450	1,450	1,450	450
17,282	17,503	17,503	2,730
査定額	説明		
6,407	19人		
11,988	45人		
1,980	198人		
1,360	端末通信費、端末管理(MDM)使用料等		

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

担当課 予算要求 ポイント	・農業委員会の運営に必要な経費を計上
---------------------	--------------------

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり

事業シート(令和7年度予算)

事業名	51200 農業振興地域整備計画推進事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性		根拠計画	産業振興計画、過疎地域持続的発展計画			
					款	5	農林水産事業費			ポイント						
					項	1	農業費			政策分野	5			産業・労働・プロモーション	市長公約	強く！～自然と向き合い暮らす強さ～ 農林畜産業において最強の産地、産品を創出します
					目	2	農業総務費			施策分野	(1)			農業・林業・畜産業		
担当課	農政部 農務課	内線	2222													

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・農業生産活動に必要な条件を備えた農業地域を保全形成する。 ・各種団体との情報交換等による地域農業の振興を図る。	概要	・農業振興計画(農地利用計画)により、集团的優良農用地の確保に努めるとともに、農業者等地域の諸情勢の変化に対応できるように計画の変更等の管理を行う。 ・飛騨農業振興会、飛騨地域農業再生協議会、飛騨エアパーク協会等事業推進
----	---	----	---

総合計画等 主な指標	R5実績	R6実績	R11目標
農業粗生産額(畜産含む、年間)	251.7億円		
担い手への農地集積率	46.3%		
認定農業者数	547経営体		

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R5		R6			(千円)	
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)	増減 (b)-(a)	
		14,352	13,805	13,902				
特定財源	国費 ()							
	県費 (県移譲事務交付金)	60	75	75				
	その他 ()							
一般財源		14,292	13,730	13,827				
新規・拡充	主な事業内容							
	農業振興地域整備促進協議会委員及び農業経営基盤強化推進会議委員謝礼	340	130	340				
	農業振興地域農用地区域特定作業	8,100	7,865	7,700				

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

3.令和5年度事業実績、評価等(Check) R6.8実施

事業実績	・農業振興地域整備促進協議会及び農業経営基盤強化推進協議会を各1回開催した。 ・局所的な災害が増加していることから、各種共済及び収入保険の加入促進に努めた。 ・飛騨エアパークについては、関係機関とともに販路拡大事業等を実施し、今後のあり方についても検討した。 ・農業振興地域整備計画基礎調査を実施した。
評価等	・水稲共済の引受面積は、令和4年度1,090ha(1,829戸)から令和5年度1,061ha(1,732戸)へと減少した。 ・園芸施設共済の引受棟数は令和4年度11,919棟(531戸)から令和5年度11,384棟(504戸)と減少した。 ・各種団体の活動目的はそれぞれ異なるものの、活動内容については事業効果を踏まえて見直す必要がある。 ・農業振興地域整備計画基礎調査により、基礎資料及び図面を作成した。
次年度以降の考え方 (担当課)	・局所的な災害が増加していることから、各種共済及び収入保険の加入促進に努める。 ・飛騨エアパークについては、今後のあり方の検討を継続する。 ・農業振興地域整備計画基礎調査を踏まえ、農用地のあり方を協議する。 ☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R5完了 ☐ R6完了予定

5.令和6年度事業実績、評価等(Check) R7.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方 (担当課)	☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R6完了 ☐ R7完了予定

4.令和7年度予算編成(Action)

R7予算		実施計画額	6,601
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減 (d)-(c)
6,615	6,601	6,601	△ 7,301
30	59	59	△ 16
6,585	6,542	6,542	△ 7,285
査定額	説明		
340	促進協議会19人、推進会議28人		

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

担当課 予算要求 ポイント	・飛騨農業振興会、飛騨地域農業再生協議会、飛騨エアパーク協会等事業推進に必要な経費を計上
---------------------	--

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり

事業シート(令和7年度予算)

事業名	51300 営農推進対策事業費				予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性		根拠計画	産業振興計画、過疎地域持続的発展計画
						款	5	農林水産事業費			ポイント			
						項	1	農業費			政策分野	5 産業・労働・プロモーション		
担当課	農政部 農務課	内線	2222			目	3	農業振興費		分野別	施策分野	(1) 農業・林業・畜産業	市長公約	強く！～自然と向き合い暮らす強さ～ 農林畜産業において最強の産地、産品を創出します

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	地域の中心となる農業経営体への農用地利用集積を促進し、経営規模の拡大・農業経営の安定を図るとともに、不作付地の解消を行う。 高山営農推進協議会が、各集落における水稻の現状の把握、問題点の整理、解決方法の検討、各種政策の推進及び研修を行うことで、地域農業の活性化を図る。	概要	・「地域計画」の見直しの取り組みの中で、地域の中心となる農業経営体への農地集積や集約化を推進する。 ・立地条件に合った水田の有効活用を促進する。 ・農業経営体の育成及び強化を行うため講座や研修会を開催する。 ・農業改良組合や営農推進協議会などの農業者団体との連携強化を図る。
----	---	----	--

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R5		R6			(千円)
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)	増減 (b)-(a)
		20,730	16,383	56,491			
特定財源	国費 ()						
	県費 (経営所得安定化対策事業費 10/10、農地集積事業費 10/10 等)	9,840	7,295	8,670			
	その他(受託事業収入、飛騨高山ふるさと基金繰入金)	100	57	100			
一般財源		10,790	9,031	47,721			
新規・拡充	主な事業内容						
	水稻病害虫共同防除に対する助成	1,500	1,031	1,300			
	農地集積協力者に対する助成	2,640	430	2,840			
	経営所得安定対策の推進活動に対する助成	6,400	6,068	7,030			
	新公設地方卸売市場における機能向上設備の導入支援			35,000			
	国際水準のGAP認証取得に対する助成	1,000	0				
	地域農業組織の基盤強化に対する助成	5,000	5,000	5,000			
	地域計画の策定・推進			1,101			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

3.令和5年度事業実績、評価等(Check) R6.8実施

事業実績	・水稻損害防止のための共同防除を実施した団体への助成(13団体、1,174ヘクタール) ・農地集積協力者への助成(4件、1.47ヘクタール) ・施設園芸就農希望者への農地貸付者に対する助成(5件、2.98ヘクタール) ・米の生産数量目標達成のための助成(1団体) ・米コンひだの開催
評価等	・農業の担い手(認定農業者)の農地利用集積を促進し、経営規模の拡大を図った。 ・米の生産数量目標達成のため、経営所得安定対策事業の活用により飼料用米等の新規需要米への作付け転換を推進し、水田の有効活用を図った。 ・水稻病害虫共同防除事業補助金により、水稻損害防止のための共同防除を促進し、品質・収量の安定化を図った。 ・「地域計画」の策定モデル地区を選定し話し合いを行った。
次年度以降の考え方(担当課)	・農業の担い手(認定農業者)への農地利用集積を促進する。 ・「地域計画」の作成を通じ、地域の農業者とともに話し合いをすすめる。 ・経営所得安定対策事業補助金等の活用により、水田の適地適品種の作付けや稲作の安定経営を図る。 ☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R5完了 ☐ R6完了予定

5.令和6年度事業実績、評価等(Check) R7.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R6完了 ☐ R7完了予定

総合計画等 主な指標	R5実績	R6実績	R11目標
農業粗生産額(畜産含む、年間)	251.7億円		
担い手への農地集積率	46.3%		

4.令和7年度予算編成(Action)

R7予算		実施計画額	19,785
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減 (d)-(c)
19,790	19,785	19,785	△ 36,706
8,285	8,290	8,290	△ 380
240	240	3,240	3,140
11,265	11,255	8,255	△ 39,466
査定額	説明		
1,300			
2,420	農地集積事業補助金、就農支援農地確保事業補助金		
6,070	飛騨地域農業再生協議会への補助金		
500			
5,000	地域農業組織強化支援事業補助金		
270			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

担当課 予算要求 ポイント	・地域計画の推進のために必要な経費を計上 ・担い手への農地集積に必要な経費を計上
---------------------	---

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・積算内容を精査

事業シート(令和7年度予算)

事業名	51305 農業体験施設等管理事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性	2	地域活動や産業、福祉など様々な分野における人への投資	根拠計画	産業振興計画、過疎地域持続的発展計画	
					款	5	農林水産事業費			ポイント	(2)	地域の元気を支える、未来の担い手づくり			
					項	1	農業費		分野別	政策分野	5	産業・労働・プロモーション	市長公約	強く！～自然と向き合い暮らす強さ～ 農林畜産業において最強の産地、産品を創出します	
					目	3	農業振興費			施策分野	(1)	農業・林業・畜産業			
担当課	農政部 農務課	内線	2223												

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・都市と農村との交流増加による地域の活性化 ・農業体験、自然体験を通じた子供たちの健全育成 ・生産、収穫などの農業体験を通じて、家族とのふれあいや地域の農業、農作物に対する理解を深める。 ・生きがいをもち、健康でゆとりのある生活の実現を図る。	概要	・施設を活用し、農業体験、自然体験の場を提供する(巣野俣野外研修施設、すのまたふるさと学校体験学習施設、彦谷の里滞在型農園施設、おっぱら自然体験センター、荒城農業体験交流館) ・市民ふれあいファミリー農園の提供(塩屋、下切)
----	--	----	---

総合計画等 主な指標	R5実績	R6実績	R11目標
新規就農者数(年間)	14名		

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R5		R6			
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)	増減 (b)-(a)
		36,381	35,526	40,466			
特定財源	国費 ()						
	県費 ()						
	その他(市民農園使用料、農業施設使用雑入 等)	769	757	827			
一般財源		35,612	34,769	39,639			
新規・拡充	主な事業内容						
	荒城農業体験交流館ほか4施設の管理運営(指定管理)	29,720	28,926	31,670			
	施設修繕	3,727	3,727	5,500			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

3.令和5年度事業実績、評価等(Check) R6.8実施

事業実績	・5施設の利用者数 12,342人 (すのまたふるさと学校 2,214人、巣野俣野外研修施設 1,668人、彦谷の里滞在型農園施設 2,820人、おっぱら自然体験センター 2,941人、荒城農業体験交流館 2,699人) ・荒城農業小学校参加児童数 69人 ・市民農園利用区画数 塩屋農園 57区画、下切農園 35区画
評価等	・指定管理者と協力しながら、農業体験、自然体験の場を提供し、地域の活性化を図った。 ・広報たかやまや Hitsz FM、ホームページなどの媒介により利用者を広く募集する必要がある。 ・公共施設総合管理計画に基づく、施設の統廃合等を検討する必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	・指定管理者と協力しながら、農業体験、自然体験の場を提供し地域の活性化をめざす。 ・利用者が快適に利用できるよう、引き続き適正管理に努める。 ・広報たかやまや Hitsz FM、ホームページなどの媒体を活用し、利用者を広く募集する。 ・譲渡を予定している施設については、施設譲渡に向けての協議を進める。 ☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R5完了 ☐ R6完了予定

5.令和6年度事業実績、評価等(Check) R7.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R6完了 ☐ R7完了予定

4.令和7年度予算編成(Action)

R7予算		実施計画額	44,724
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減 (d)-(c)
41,780	44,724	44,724	4,258
774	767	767	△ 60
41,006	43,957	43,957	4,318
査定額	説明		
34,640	指定管理委託料		
7,000			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

担当課 予算要求 ポイント	・農業体験、自然体験施設等の適正な管理運営に必要な経費を計上
---------------------	--------------------------------

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定の 考え方	・財務部査定のとおり

事業シート(令和7年度予算)

事業名	51310 農作物被害防止対策事業費				予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性		根拠計画	産業振興計画、過疎地域持続的発展計画	
						款	5	農林水産業費			ポイント				
						項	1	農業費		分野別	政策分野	5	産業・労働・プロモーション	市長公約	強く！～自然と向き合い暮らす強さ～ 農林畜産業において最強の産地、産品を創出します
						目	3	農業振興費			施策分野	(1)	農業・林業・畜産業		
担当課	農政部 農務課	内線	2223												

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・鳥獣被害に強い地域づくり、安定した農業経営及び農作物の生産を図ることにより、農業生産意欲の向上と耕作放棄地の発生を抑制する。	概要	・地域ぐるみによる鳥獣被害防止対策の推進(研修会の開催促進、鳥獣侵入防止柵等の設置支援) ・狩猟者団体を中心に任命された鳥獣被害対策実施隊による安全かつ適正な有害鳥獣の捕獲 ・農家等の狩猟免許取得を促進し、捕獲技術者の確保・育成を図る。
----	---	----	--

総合計画等 主な指標	R5実績	R6実績	R11目標
鳥獣による農作物被害面積(年間)	37.7ha		

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R5		R6			(千円)	
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)	
		73,770	64,567	70,870				
特定財源	国費()							
	県費(鳥獣被害防止対策事業費 10/10、県移譲事務交付金)	17,618	14,672	15,024				
	その他()							
一般財源		56,152	49,895	55,846				
新規・拡充	主な事業内容							
	鳥獣被害防止柵設置に対する助成(国県補助)	6,000	4,894	3,300				
	鳥獣被害防止柵設置に対する助成(市単独)	8,000	2,061	6,000				
	有害鳥獣の捕獲に対する報償金	43,000	43,516	45,600				
	鳥獣被害対策実施隊員への報酬	6,650	5,725	6,950				
	ニホンジカの個体数調整捕獲	3,800	2,910	3,800				
	鳥獣被害防止対策協議会に対する助成	1,800	747	1,200				
	捕獲技術者の育成	2,800	3,957	2,800				

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

3.令和5年度事業実績、評価等(Check) R6.8実施

事業実績	・侵入防止柵の設置支援:実施箇所数:10箇所、受益面積:32.66ha ・鳥獣被害対策実施隊員数 283名(免許所持者:175名、補助者:108名) ・捕獲技術者育成 16名 ・捕獲数量(有害) イノシシ:887頭、サル:133頭、ニホンジカ:853頭、クマ:94頭、カラス:118羽 ・狩猟捕獲特別報奨 イノシシ:33頭、ニホンジカ個体数調整捕獲 194頭
評価等	・捕獲技術者育成により、捕獲従事者の技術継承が図られた。 ・地域ぐるみで農地を守る取り組みを推進するため、捕獲体制作りを進める必要がある。 ・クマによる人身危害がR5年度3件発生し、人家近くでの目撃情報も増えるなか鳥獣被害対策実施隊への緊急バトロールの要請が増えている。鳥獣被害対策実施隊の待遇改善を進める必要がある。 ・小動物による農作物の被害が増加しており、捕獲強化が求められている。
次年度以降の考え方(担当課)	・捕獲を含む地域ぐるみの鳥獣被害防止対策や、鳥獣の個体数管理等を総合的に行い、被害軽減を図る。 ・鳥獣被害対策実施隊員への待遇改善を図る。 ・小動物による農作物への被害防止を進めるため捕獲強化を図る。 ☒ 維持・改善 ☒ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R5完了 ☐ R6完了予定

5.令和6年度事業実績、評価等(Check) R7.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R6完了 ☐ R7完了予定

4.令和7年度予算編成(Action)

R7予算		実施計画額	78,570
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)
78,597	78,570	78,570	7,700
20,057	20,429	20,429	5,405
58,540	58,141	58,141	2,295
査定額	説明		
7,500			
6,000			
47,900			
6,950			
3,800			
1,800			
3,400			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

担当課 予算要求 ポイント	・獣害防止柵等の設置から捕獲技術者の育成、捕獲作業に必要な経費まで、総合的に鳥獣被害を防止するための経費を計上
---------------------	---

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり

事業シート(令和7年度予算)

事業名	51315 農業制度資金等利子補給事業費				予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性		根拠計画	産業振興計画、過疎地域持続的発展計画		
						款	5	農林水産業費			ポイント					
						項	1	農業費		分野別	政策分野	5	産業・労働・プロモーション	市長公約	強く！～自然と向き合い暮らす強さ～ 農林畜産業において最強の産地、産品を創出します	
						目	3	農業振興費			施策分野	(1)	農業・林業・畜産業			
担当課	農政部 農務課	内線	2226													

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・農業を行うために必要な資金を利用しやすくすることで、農業経営の改善を図る。	概要	・農業経営基盤強化資金などの借入資金にかかる利子を補給(助成)する。
----	--	----	------------------------------------

総合計画等 主な指標	R5実績	R6実績	R11目標
農業粗生産額(畜産含む、年間)	251.7億円		

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R5		R6		
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)
						増減 (b)-(a)
特定財源	国費 ()	850	674	440		
	県費 (農業経営基盤強化資金利子補給金 1/2)	240	205	190		
	その他 ()					
一般財源		610	469	250		
新規・拡充	主な事業内容					
	農業経営基盤強化資金利子補給金(債務負担)	480	411	390		
	新型コロナウイルス対策利子補給金	370	263	50		

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

3.令和5年度事業実績、評価等(Check) R6.8実施

事業実績	農業経営基盤強化資金利子補給 件数 17件 新型コロナウイルス対策利子補給 件数 9件	
評価等	・借入に伴い必要な利子補給を行った。	
次年度以降の考え方 (担当課)	・農業を行うため必要な資金を利用しやすくするため、今後も継続する。	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R5完了 ☐ R6完了予定

5.令和6年度事業実績、評価等(Check) R7.8実施

事業実績		
評価等		
次年度以降の考え方 (担当課)		☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R6完了 ☐ R7完了予定

4.令和7年度予算編成(Action)

R7予算		実施計画額	300
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減 (d)-(c)
300	300	300	△ 140
150	150	150	△ 40
150	150	150	△ 100
査定額	説明		
300			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

担当課 予算要求 ポイント	・農業経営改善の融資にかかる利子補給に必要な経費を計上 ・新型コロナウイルス対策利子補給金については、補給年限終了
---------------------	--

財務部 査定の 考え方	・要求どおり
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり

事業シート(令和7年度予算)

事業名	51320 新規就農者等育成支援事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性	2	地域活動や産業、福祉など様々な分野における人への投資	根拠計画	産業振興計画、過疎地域持続的発展計画
					款	5	農林水産業費			ポイント	(2)	地域の元気を支える、未来の担い手づくり		
					項	1	農業費			政策分野	5	産業・労働・プロモーション		
					目	3	農業振興費			分野別 施策分野	(1)	農業・林業・畜産業		
担当課	農政部 農務課		内線	2224	市長公約 強く！～自然と向き合い暮らす強さ～ 農林畜産業において最強の産地、産品を創出します									

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・次代を担う新規就農者及び農業後継者等の育成・定着を図り、地域農業を持続的に発展させる。	概要	・就農希望者を対象とした実践的な就農研修支援事業の実施 ・新規就農者等の農地賃借料に対する助成 ・農業後継者団体等に対する助成 ・認定新規就農者等の経営を安定させるために給付金等を給付
----	--	----	---

総合計画等 主な指標	R5実績	R6実績	R11目標
新規就農者数	14人		

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R5		R6		
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)
		増減 (b)-(a)				
特定財源	国費 ()					
	県費 (青年就農者支援事業費 10/10、就農研修支援事業費 10/10 等)	62,500	42,191	46,200		
	その他(夢・まちづくり基金収入、飛騨高山ふるさと基金繰入金)	702	429	611		
一般財源		9,218	5,387	7,429		
新規・拡充	主な事業内容					
	新規就農者の経営規模拡大に対する助成	750	949	620		
	就農体感ツアー、就農移住相談会、短期研修ほか	960	806	1,220		
	就農希望者に対する実践的な農業研修の支援	3,154	2,200	4,600		
	50歳未満の独立・自営就農者に対する助成	51,400	37,140	36,000		
	農業後継者に対する助成(農業後継者の経営参画等に対する助成)	13,000	5,000	10,000		
	農業後継者に対する助成(農業団体への活動に対する助成)	1,270	1,016	1,170		
	農業後継者の海外派遣研修に対する助成			630		

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

3.令和5年度事業実績、評価等(Check) R6.8実施

事業実績	・就農希望者の実践的就農研修の受入 5名 ・農業後継者組織の活動に対する助成 3団体 ・農業後継者就農給付金等による後継者就農等への支援 5名 ・新規就農者等への農地賃借料に対する助成 19名 ・青年就農者支援事業補助金による新規就農者等への支援 22件(次世代17件+初期投資5件) ・新規就農相談件数 108件
評価等	・就農希望者等が安心して農業に取り組めるよう継続的な支援やフォローアップ及び支援情報等の積極的な発信により、新規就農者等の確保及び農業への定着を図っていく必要がある。
次年度以降の考え方 (担当課)	・新規就農者育成総合対策(経営開始資金)等の支援事業を積極的に活用し、新規就農者のフォローアップを図ることにより農業への定着に導く。 ・各種就農移住相談会の活用や農情情報サイトの登録等により、高山市の支援情報を積極的に発信する。 ・就農につながる研修生を確保するため、新規就農者育成総合対策(就農準備資金)を活用し、就農前の不安定な環境を下支えする。 ☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R5完了 ☐ R6完了予定

5.令和6年度事業実績、評価等(Check) R7.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方 (担当課)	☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R6完了 ☐ R7完了予定

4.令和7年度予算編成(Action)

(千円)

R7予算		実施計画額	59,180
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減 (d)-(c)
59,876	59,900	59,180	4,940
51,962	51,970	51,610	5,410
466	0	3,000	2,389
7,448	7,930	4,570	△ 2,859
査定額	説明		
920	新規就農者規模拡大事業補助金		
640			
4,150	農業研修生受入農家への謝礼		
42,300	新規就農者育成総合対策		
10,000			
1,170			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

担当課 予算要求 ポイント	・新規就農者、就農を目指す研修生などの支援に必要な経費を計上
---------------------	--------------------------------

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定の 考え方	・新規就農希望者に向けたプロモーション動画制作費用については予算化を見送り(広報公聴課所管事業にて対応)

事業シート(令和7年度予算)

事業名	51325 地域特産物振興助成事業費				予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性			根拠計画	産業振興計画、過疎地域持続的発展計画		
						款	5	農林水産事業費			ポイント						
						項	1	農業費		分野別	政策分野	5	産業・労働・プロモーション		市長公約	強く！～自然と向き合い暮らす強さ～	
						目	3	農業振興費			施策分野	(1)	農業・林業・畜産業			農林畜産業において最強の産地、産品を創出します	
担当課	農政部 農務課			内線	2223												

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・地域の特色ある産地産品づくりを推進するため、特色ある農産物の掘り起しを行い、それらの生産者組織を支援することにより、地域特産物の生産拡大、高品質化、新商品開発等を促進し、地域の活性化を図る。	概要	・各段階に応じた下記の取組みに要する経費に対し補助金を交付 【ステップ1 発掘】 地域の特色を活かして取り組もうとする新たな農産物の選定、栽培技術の確立及び生産販売体系の構築等 【ステップ2 育成】 地域の特色を活かした農産物の生産拡大や高品質化 【ステップ3 振興】 地域の特色を活かした農産物を利用した新商品開発や販売促進活動
----	--	----	--

総合計画等 主な指標	R5実績	R6実績	R11目標
農業粗生産額(畜産含む、年間)	251.7億円		

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R5		R6			
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)	増減 (b)-(a)
		2,500	867	2,000			
特定財源	国費 ()						
	県費 ()						
	その他(夢・まちづくり基金繰入金)	1,000	800				
一般財源		1,500	67	2,000			
新規・拡充	主な事業内容						
	地域特産物発掘(新たな農産物の選定、栽培技術・販売体系の確立への助成)	1,000	284	500			
	地域特産物育成(生産拡大や高品質化への助成)	1,250	583	1,500			
	地域特産物振興(新商品開発や販売促進活動への助成)	250	0				

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

3.令和5年度事業実績、評価等(Check) R6.8実施

事業実績	・ステップ1 ひだものづくり(桃ポット栽培、1年目) ・ステップ2 飛騨山椒生産者組合 (山椒、1年目) 久々野町果実出荷組合 (ひだりんこ、1年目)
評価等	・関係機関と連携して実施するとともに、生産量・販売量・試験栽培の状況等の検証を行い、事業の効果をあげるように取り組む必要がある。
次年度以降の考え方 (担当課)	・国等の事業は規模や事業費が大きくないと該当しないため、新規の小さな取組の支援として継続が必要。 ・地域の特色を活かした農産物振興のため、より発展性のある事業となるよう、販路拡大や6次産業化につながる要件などの見直しを進める。 ☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R5完了 ☐ R6完了予定

5.令和6年度事業実績、評価等(Check) R7.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方 (担当課)	☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R6完了 ☐ R7完了予定

4.令和7年度予算編成(Action)

R7予算		実施計画額	1,300
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減 (d)-(c)
1,300	1,300	1,300	△ 700
		1,000	1,000
1,300	1,300	300	△ 1,700
査定額	説明		
200			
700			
400			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

担当課 予算要求 ポイント	・地域の特色ある地場産品づくりを推進するために必要な経費を計上
---------------------	---------------------------------

財務部 査定の 考え方	・要求どおり
市長査定 の考え方	・積算内容を精査

事業シート(令和7年度予算)

事業名	51335 農業施設等整備費助成事業費				予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性		根拠計画	産業振興計画、過疎地域持続的発展計画		
						款	5	農林水産業費			ポイント					
						項	1	農業費		分野別	政策分野	5		産業・労働・プロモーション	市長公約	強く！～自然と向き合い暮らす強さ～ 農林畜産業において最強の産地、産品を創出します
						目	3	農業振興費			施策分野	(1)		農業・林業・畜産業		
担当課	農政部 農務課		内線	2226												

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・化学合成農業や化学肥料の使用削減や品質及び生産性の向上、環境保全効果の高い営農方法の導入等により、消費者に信頼される安全・安心で競争力のある売れる農産物づくりを推進する。 ・新規就農者や意欲ある経営体等の育成・確保を図り、地域農業の持続的な発展に寄与する。	概要	・安全・安心・健康でブランド力のある売れる農産物づくりを推進するため必要となる機械・施設等の導入経費に対して助成する。 ・意欲ある多様な経営体が自ら計画する経営改善目標の達成に向け必要な農業用機械、施設等に支援することにより、農業経営体の経営の拡大や改善を図る。
----	--	----	--

総合計画等 主な指標	R5実績	R6実績	R11目標
農業粗生産額(畜産含む、年間)	251.7億円		

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R5		R6			
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)	増減 (b)-(a)
		88,500	60,454	94,500			
特定財源	国費 ()						
	県費 (農業総合整備事業費 1/4、経営体育成支援事業費 3/10 等)	62,300	38,385	63,700			
	その他(飛騨高山ふるさと基金繰入金)						
一般財源		26,200	22,069	30,800			
新規・拡充	主な事業内容						
	農業用設備等の導入整備に対する助成	62,500	59,185	79,100			
	融資を活用した農業用機械の導入に対する助成(旧強い農業・担い手づくり・農地利用効率化等支援)	5,000	0	10,400			
	融資を活用した農業用機械の導入に対する助成(担い手確保・経営強化支援)	15,000	0				
	中山間地域等担い手育成に対する助成	1,000	1,269	5,000			
○ 1	小規模農家等の営農継続に対する助成						

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

3.令和5年度事業実績、評価等(Check) R6.8実施

事業実績	・農業総合整備事業(雨よけハウス、機械導入等) 8団体 3経営体 ・中山間地域等担い手育成に対する助成(外国人労働者用宿舎の改築) 1経営体
評価等	・県や関係機関と連携し、それぞれの経営体の実情に合わせ、要望に基づいた補助を行い経営の安定を図った。 ・申請者の計画に基づいて適切に補助を行い労働環境の改善を図った。
次年度以降の考え方(担当課)	・事業計画の精度を高め、個々の事業を精査し事業全体の推進に努める。 ・事業の採択要件の緩和について、引き続き県へ要望していく。 ・事業実施主体や県等と連携し、速やかな事業の実施を推進していく。 ・新規就農支援者相談や各種会議・会合等で事業内容を紹介し、アンケート調査等で要望量を把握し、事業推進に努める。 ☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R5完了 ☐ R6完了予定

5.令和6年度事業実績、評価等(Check) R7.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R6完了 ☐ R7完了予定

4.令和7年度予算編成(Action)

R7予算		実施計画額	92,300
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減 (d)-(c)
102,321	92,300	92,300	△ 2,200
55,104	55,100	55,100	△ 8,600
		2,000	2,000
47,217	37,200	35,200	4,400
査定額	説明		
83,900			
3,400			
5,000			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

担当課 予算要求 ポイント	・農業用設備等の導入整備及びハウスの機能向上に対する助成に必要な経費を計上 ・小規模農家等の営農継続に対する助成に必要な経費を計上
---------------------	--

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・積算内容を精査

事業シート(令和7年度予算)

26_農務課.xlsx_10

事業名	51335農業施設等整備費助成事業費	区分	☐ R6新規	☒ R7新規	予算	会計	1	一般会計	担当課	農政部農務課
			☐ R6拡充	☐ R7拡充		款	5	農林水産業費		
枝番・内容	1小規模農家等の営農継続に対する助成		☐ その他重要事業			項	1	農業費	内線	2222
			☐			目	3	農業振興費	作成年月	R7.2

事業の目的・概要(Plan)

目的	・将来にわたって営農(水稻)を継続しようとする農家の、営農継続に必要な農業機械の購入経費を支援することにより、多様な担い手の確保、農地の保全、農業者の営農継続意欲の向上を図り、地域計画を推進する。	概要	・水稻の営農継続に必要な農業機械の更新費用の一部を助成 補助対象事業費の1/4以内(市単) 1農業者あたり 50万円が上限(1回限り)
----	--	----	---

[参考] R5決算(Do・Check) R6.8時点 (千円)

予算額	当初	
	繰越	
	補正等	
	最終	
決算額		
対前年度増減額(決算)		

[参考] R6当初予算(Action) R6.3時点 (千円)

予算額	当初	
主な経費		
対前年度増減額(当初予算)		

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

R6決算(Do・Check) R7.8時点 (千円)

予算額	当初	
	繰越	
	補正等	
	最終	
決算額		
対前年度増減額(決算)		

R7当初予算(Action) (千円)

予算額	当初	5,000
主な経費		
対前年度増減額(当初予算)		5,000

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

事業実績、評価等		
[事業実績]		
[評価等]		
次年度以降の考え方(担当課)		☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R5完了 ☐ R6完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	
[スケジュール]	

事業実績、評価等		
[事業実績]		
[評価等]		
次年度以降の考え方(担当課)		☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R6完了 ☐ R7完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	
[スケジュール]	
R7.4～事業実施	

事業シート(令和7年度予算)

事業名	51337 スマート農業導入事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性		根拠計画	過疎地域持続的発展計画
					款	5	農林水産業費			ポイント			
					項	1	農業費		分野別	政策分野	5	市長公約	強く！～自然と向き合い暮らす強さ～ 農林畜産業において最強の産地、産品を創出します
					目	3	農業振興費			施策分野	(1)		
担当課	農政部 農務課		内線	2224									

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・高齢化等で農業の担い手が減少するなか、限られた労力で高い成果を上げられる環境づくりをすすめる。	概要	・ICTやAIなどの最新技術を利用した農業機械の導入に対する支援
----	--	----	----------------------------------

総合計画等 主な指標	R5実績	R6実績	R11目標
農業粗生産額(畜産含む、年間)	251.7億円		

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R5		R6			
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)	増減 (b)-(a)
		6,000	4,836	6,000			
特定財源	国費 ()						
	県費 (スマート農業技術導入支援事業費 1/3)	4,000	3,225	4,000			
	その他(飛騨高山ふるさと基金繰入金)						
一般財源		2,000	1,611	2,000			
新規・拡充	主な事業内容						
	ICTを活用した農業機械の導入に対する支援	6,000	4,836	6,000			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

3.令和5年度事業実績、評価等(Check) R6.8実施

事業実績	・防除用ドローン 2台 ・直進アシスト田植機 1台 ・自走式草刈機 1台 ・ハウス内環境センサー 1台
評価等	・ICT・AI等のスマート農業技術機械導入により、省力化・労働力不足の解消に効果を発揮している。
次年度以降の考え方 (担当課)	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R5完了 ☐ R6完了予定 ・スマート農業技術の導入に関する支援を継続して進めていく。 ・関係機関の実証実験等の成果を活かし、地域に適したスマート農業の推進を行う。

5.令和6年度事業実績、評価等(Check) R7.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方 (担当課)	☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R6完了 ☐ R7完了予定

4.令和7年度予算編成(Action)

R7予算		実施計画額	9,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減 (d)-(c)
9,000	9,000	9,000	3,000
6,000	6,000	6,000	2,000
		1,000	1,000
3,000	3,000	2,000	0
査定額	説明		
9,000	スマート農業技術導入事業補助金		

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

担当課 予算要求 ポイント	・ICTやAIなどの最新技術を利用した農業機械の導入に対する支援に必要な経費を計上
---------------------	---

財務部 査定の 考え方	・要求どおり
市長査定 の考え方	・積算内容を精査

事業シート(令和7年度予算)

事業名	51340 地産地消推進事業費				予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性			根拠計画	産業振興計画、過疎地域持続的発展計画	
						款	5	農林水産業費			ポイント					
						項	1	農業費		分野別	政策分野	5	産業・労働・プロモーション	市長公約	強く！～自然と向き合い暮らす強さ～ 農林畜産業において最強の産地、産品を創出します	
						目	3	農業振興費			施策分野	(1)	農業・林業・畜産業			
担当課	農政部 農務課			内線	2225											

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・地域で生産されたものを地域で消費する。 ・生産者の顔がみえ、新鮮で安全安心な農畜産物が供給される。 ・地域の農業と関連産業の活性化を図る。	概要	・地産地消に取り組む事業者の情報発信や消費者と生産者の連携を強化し、地産地消を推進する。 ・市内の小中学校等大量調理施設において、地域農産物の利用促進を行う。
----	--	----	--

総合計画等 主な指標	R5実績	R6実績	R11目標
農業粗生産額(畜産含む、年間)	251.7億円		

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R5		R6		
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)
		6,070	4,287	5,551		増減 (b)-(a)
特定財源	国費 ()					
	県費 (学校給食地産地消推進事業費 1/3)	1,100	845	1,100		
	その他(飛騨高山ふるさと基金繰入金)					
一般財源		4,970	3,442	4,451		
新規・拡充	主な事業内容					
	生産者と食品関連事業者とのマッチングイベント等	1,170	558	1,151		
	学校給食での県内産米、小麦粉、野菜等の利用促進	4,900	3,729	4,400		

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

3.令和5年度事業実績、評価等(Check) R6.8実施

事業実績	・飛騨をまるごと食べんかな月間における啓蒙事業の実施、手作り弁当の募集、小学校における食育講座、料理教室2回、農家ツアー1回、HP等での情報発信、新たな地産地消認証制度創設への協議を行った。 ・学校給食地産地消推進事業補助金を活用した、小中学校の学校給食における地元産・県産農産物の積極的な活用の推進 ・学校給食使用食材に占める飛騨産食材の比率 63.9% ・公設地方卸売市場の取扱量に占める飛騨産食材の比率 11.6% ・地産地消の取り組みを発信する店舗・団体数 228件 ・主要な直売所の年間販売額(17箇所) 541,753千円
評価等	・事業実施により、農業者・商工業者・消費者等がコミュニケーションを図ることで、地域産業の活性化につながっている。 ・地域農産物等の認知度向上及び利用促進に向けた取り組みを、地産地消推進会議と連携し、更に強化する必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R5完了 ☐ R6完了予定 ・地域特産物の利用拡大を推進していく中で、地域の農業と関連産業を結び付ける事業を展開する。 ・より地産地消の取り組みが進むよう、関係者との検討を進める。

5.令和6年度事業実績、評価等(Check) R7.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R6完了 ☐ R7完了予定

4.令和7年度予算編成(Action)

R7予算		実施計画額	5,300
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減 (d)-(c)
5,296	5,300	5,300	△ 251
1,100	1,100	1,100	0
		2,000	2,000
4,196	4,200	2,200	△ 2,251
査定額	説明		
900	地産地消推進PR事業の実施		
4,400			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

担当課 予算要求 ポイント	・学校給食での地元農産物の利用推進及び地産地消推進事業を実施するために必要な経費を計上
---------------------	---

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・積算内容を精査

事業シート(令和7年度予算)

事業名	51350 環境保全型農業推進事業費				予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性		根拠計画	産業振興計画、過疎地域持続的発展計画		
						款	5	農林水産業費			ポイント					
						項	1	農業費		分野別	政策分野	5	産業・労働・プロモーション	市長公約	強く！～自然と向き合い暮らす強さ～ 農林畜産業において最強の産地、産品を創出します	
						目	3	農業振興費			施策分野	(1)	農業・林業・畜産業			
担当課	農政部 農務課			内線	2225											

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・地球温暖化防止や生物多様性保全に効果の高い、国が定める特定の営農活動を支援し、環境保全型農業を推進する。 ・みどりの食料システム戦略の実現に向けて、有機農業の取組面積の拡大を図る。	概要	・国、県と協調し、地球温暖化防止や生物多様性保全に効果の高い営農活動を行う経営体に対して交付金による直接支援を行う。 ・新たに有機農業への転換等を実施する農業者等に対して、有機農業の生産を開始するにあたり必要な経費を助成する。
----	--	----	--

総合計画等 主な指標	R5実績	R6実績	R11目標
農業粗生産額(畜産含む、年間)	251.7億円		

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R5		R6			
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)	増減 (b)-(a)
		5,300	4,464	6,100			
特定財源	国費 ()						
	県費 (環境保全型農業支援事業費 3/4、有機転換推進事業費 10/10)	3,520	2,972	4,700			
	その他 ()						
一般財源		1,780	1,492	1,400			
新規・拡充	主な事業内容						
	地球温暖化防止や生物多様性保全に効果の高い営農活動に対する助成	4,700	3,963	5,600			
	使用済農業用資材の適正処理に対する助成	600	501				
	有機農業への転換に対する助成			500			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

3.令和5年度事業実績、評価等(Check) R6.8実施

事業実績	・関係機関と連携し、農業用廃ビニールの回収と処理にかかる費用を助成した。(フレコンバック501袋) ・国・県と連携し、環境保全型農業に取組む経営体に対して交付金による直接支援を行った。(交付金面積6,069a)	
評価等	・農業団体や関係機関とともに、農業用廃ビニールの適正処理や環境保全型農業への取り組みを支援したことにより、地球温暖化防止や生物多様性保全を図ることができた。	
次年度以降の考え方 (担当課)	・環境に配慮した営農活動を推進する。 ・環境保全型農業に取り組む農業者の環境への効果、活動のPRを支援しながら、さらなる推進を図る。 ・農業用廃ビニールの適正処理については、農業者の環境保全への理解も深まり処理方法も定着した。本来が事業者負担である主旨も踏まえ、R5年度を以て助成を終了する。	☒ 維持・改善 ☒ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☒ R5完了 ☐ R6完了予定

5.令和6年度事業実績、評価等(Check) R7.8実施

事業実績		
評価等		
次年度以降の考え方 (担当課)		☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R6完了 ☐ R7完了予定

4.令和7年度予算編成(Action)

R7予算		実施計画額	5,100
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減 (d)-(c)
5,100	5,100	5,100	△ 1,000
3,850	3,850	3,850	△ 850
1,250	1,250	1,250	△ 150
査定額	説明		
5,000			
100	有機転換推進事業		

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

担当課 予算要求 ポイント	・地球温暖化防止や生物多様性保全に効果の高い営農活動を行う経営体に対する支援に必要な経費を計上
---------------------	---

財務部 査定の 考え方	・要求どおり
市長査定の 考え方	・財務部査定のとおり

事業シート(令和7年度予算)

事業名	51355 中山間地域等直接支払事業費				予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性		根拠計画	過疎地域持続的発展計画		
						款	5	農林水産業費			ポイント					
						項	1	農業費		分野別	政策分野	5		産業・労働・プロモーション	市長公約	農林畜産業において最強の産地、産品を創出します ～農林畜産業に携わるなら「飛騨高山で」の地位を確立～
						目	3	農業振興費			施策分野	(1)		農業・林業・畜産業		
担当課	農政部 農務課		内線	2229												

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・耕作放棄地の増加等により水源かん養機能、洪水防止機能等の多面的機能の低下が特に懸念されている中山間地域等において、担い手の育成等による農業生産の維持を通じて、多面的機能を確保する。	概要	・中山間地域等の農業生産条件が不利な地域において、5年以上農業を続けることを約束した農業者等に対して支援する。
----	---	----	---

総合計画等 主な指標	R5実績	R6実績	R11目標
農業粗生産額(畜産含む)(年間)	251.7億円		
担い手への農地集積率	46.3%		

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R5		R6			
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)	増減 (b)-(a)
		175,640	172,460	175,300			
特定財源	国費 ()						
	県費 (中山間地域等直接支払事業費 2/3、3/4、10/10)	131,240	128,785	131,200			
	その他()						
一般財源		44,400	43,675	44,100			
新規・拡充	主な事業内容						
	中山間地域等直接支払事業に対する助成	175,345	172,166	175,100			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

3.令和5年度事業実績、評価等(Check) R6.8実施

事業実績	・協定締結数 94協定 ・事業参加面積 1,245ha ・新規拡充された事業メニュー(集落機能加算等)について、各組織への説明を行った。
評価等	・中山間地域における持続的な農業や集落活動への支援を引き続き実施していく必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	・新規に取り組みを希望する集落の掘り起こしを行い、耕作放棄地の解消や予防を促進していく。 ・各組織に対し、第6期(R7～R11)事業への継続の手続きを進めるとともに、活用されていない地域組織に対し周知を行う。 ☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R5完了 ☐ R6完了予定

5.令和6年度事業実績、評価等(Check) R7.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R6完了 ☐ R7完了予定

4.令和7年度予算編成(Action)

R7予算		実施計画額	175,300
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減 (d)-(c)
175,224	175,300	175,300	0
130,928	131,200	131,200	0
44,296	44,100	44,100	0
査定額	説明		
175,100	94協定		

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

担当課 予算要求 ポイント	・中山間地域における持続的な営農活動・集落活動への支援に必要な経費を計上
---------------------	--------------------------------------

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定の 考え方	・財務部査定のとおり

事業シート(令和7年度予算)

事業名	51360 耕作放棄地対策事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性	2	地域活動や産業、福祉など様々な分野における人への投資	根拠計画	農業振興地域整備計画、過疎地域持続的発展計画		
			款	5	農林水産業費			ポイント	(2)	地域の元気を支える、未来の担い手づくり				
			項	1	農業費		分野別	政策分野	5	産業・労働・プロモーション			市長公約	農林畜産業において最強の産地、産品を創出します ～農林畜産業に携わるなら「飛騨高山で」の地位を確立～
			目	3	農業振興費			施策分野	(1)	農業・林業・畜産業				
担当課	農政部 農務課	内線	2227											

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・耕作放棄地を解消することで、農産物の生産供給のほか、農地による洪水防止など国土の保全を向上させ、農村環境や自然環境を維持する。 ・地域の団体や企業が、耕作放棄地対策に取り組むことで、地域の振興と住民同士の連携体制を強化する。	概要	・耕作放棄地を解消しようとする団体や認定農業者による、農地を再生するための活動に対して支援する。
----	--	----	--

総合計画等 主な指標	R5実績	R6実績	R11目標
担い手への農地集積率	46.3%		

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R5		R6			(千円)
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)	増減 (b)-(a)
		6,500	6,499	6,500			
特定財源	国費 ()						
	県費 ()						
	その他 ()						
一般財源		6,500	6,499	6,500			
新規・拡充	主な事業内容						
	耕作放棄地再生利用事業に対する助成	6,500	6,499	6,500			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和7年度予算編成(Action)

R7予算		実施計画額	5,220
要求額(d)	財務部査定額	市長査定額	増減 (d)-(c)
5,220	5,200	5,200	△ 1,300
5,220	5,200	5,200	△ 1,300
査定額	説明		
5,200			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和5年度事業実績、評価等(Check) R6.8実施

事業実績	・高山地域 1件(0.09ha) 水稻の作付け ・丹生川地域 3件(1.81ha) トマトの作付け ・上宝地域 1件(0.02ha) わさびの作付け 合計 5件 1.93ha
評価等	・長年にわたる制度周知の成果により、制度の認知も進んでいる。 ・例年、ほぼ100%に近い執行率となっており、農地の再生や有効利用に活用されているが、耕作放棄地は年々増加している。(耕作放棄地全体調査結果 R4:127ha ⇒ R5:139ha 12ha増)
次年度以降の考え方(担当課)	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R5完了 ☐ R6完了予定

5.令和6年度事業実績、評価等(Check) R7.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R6完了 ☐ R7完了予定

担当課 予算要求 ポイント	・耕作放棄地を解消しようとする団体や認定農業者等による、農地を再生するための活動に対する支援に必要な経費を計上
---------------------	---

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり

事業シート(令和7年度予算)

事業名	54100 農業土木施設整備事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性		根拠計画	過疎地域持続的発展計画
					款	5	農林水産業費			ポイント			
					項	4	農業土木費			政策分野	5		
					目	1	農業土木総務費			分野別 施策分野	(1)		
担当課	農政部 農務課	内線	2229									市長公約	農林畜産業において最強の産地、産品を創出します ～農林畜産業に携わるなら「飛騨高山で」の地位を確立～

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・用排水路等の農業用施設の機能維持、機能回復または機能改良 ・豪雨時においてダムによる洪水調整を行い、下流域における市民の安全を確保し、生活施設、農業生産施設、農作物等の被害を防止する。	概要	・用排水路等の農業用施設の修繕・改修整備、防災ダム・用水路を利用した小水力発電所の保守点検
----	--	----	---

総合計画等 主な指標	R5実績	R6実績	R11目標
農業粗生産額(畜産含む)(年間)	251.7億円		

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R5		R6			(千円)
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)	増減 (b)-(a)
		102,260	97,637	60,888			
特定財源	国費 ()						
	県費 (県移譲事務交付金、農業農村整備事業費 45/100 等)	6,930	6,639	10,430			
	その他(農業用施設改良事業費(市単事業) 10/100、敷地占用料 等)	19,571	16,695	11,980			
一般財源		75,759	74,303	38,478			
新規・拡充	主な事業内容						
	防災ダムの維持管理	4,055	2,886	5,006			
	農業用施設工事 (用水路等工事 分担金あり)	15,800	14,617	19,400			
	農業用施設工事 (排水路等工事 分担金なし)	59,018	57,286	22,000			
	農業用施設修繕用原材料支給	5,000	4,983	5,000			
	小水力発電所の維持管理	5,500	4,628	4,990			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

3.令和5年度事業実績、評価等(Check) R6.8実施

事業実績	・宮川、久々野防災ダム 施設維持管理(支障木除去、法面草刈り) ・荘川清流発電所 施設維持管理(発電機器・除塵機点検、維持管理) ・農業用施設工事 (用水路等工事 分担金あり) 18件 ・農業用施設修繕工事 (排水路等工事 分担金なし) 39件 ・広域営農団地農道清掃 ・農業用施設修繕用原材料の支給
評価等	・防災ダムについては適正に施設点検・維持管理を行った。 ・小水力発電の運営に際し地元水路管理組合と円滑な流水確保を行った。 ・地域からの農業用施設修繕の提案に対し、老朽化した施設の修繕を行い長寿命化を図ることができた。
次年度以降の考え方 (担当課)	・防災ダム施設の適正な状態を保つために、定期的な保守点検・施設修繕・部品交換などを計画的に実施する。 ・小水力発電施設の適正な運営に向け、水路維持管理組合と流水確保を図るとともに定期的な保守点検を実施する。 ・農業用施設の維持、長寿命化を図るために、町内会、改良組合、農業用施設管理団体等との更なる調整をすすめる。 ☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R5完了 ☐ R6完了予定

5.令和6年度事業実績、評価等(Check) R7.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方 (担当課)	☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R6完了 ☐ R7完了予定

4.令和7年度予算編成(Action)

R7予算		実施計画額	69,283
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減 (d)-(c)
69,424	69,283	69,283	8,395
8,380	8,404	8,404	△ 2,026
11,859	11,789	11,789	△ 191
49,185	49,090	49,090	10,612
査定額	説明		
5,225			
18,400			
29,000			
5,000			
6,500			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

担当課 予算要求 ポイント	・防災ダム、小水力発電所の維持管理に必要な経費を計上 ・老朽化した農業土木施設(用水・排水・農道)の改修に必要な経費を計上
---------------------	--

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定の 考え方	・財務部査定のとおり

事業シート(令和7年度予算)

事業名	54120 農村環境多面的機能向上事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性		根拠計画	過疎地域持続的発展計画	
					款	5	農林水産業費			ポイント				
					項	4	農業土木費		分野別	政策分野	5	農業・林業・畜産業	市長公約	農林畜産業において最強の産地、産品を創出します ～農林畜産業に携わるなら「飛騨高山で」の地位を確立～
					目	1	農業土木総務費			施策分野	(1)	特色を活かした生産地づくり		
担当課	農政部 農務課		内線	2229										

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・脆弱化しつつある地域共同活動を再構築し、農業用施設の保全(長寿命化)をするるとともに、農村環境の保全など、地域農業の発展と農山村地域の活性化を図る。	概要	・各地域の活動組織と市との間で締結した「農地・農業用水等の資源や環境の保全と質的向上に対する協定」に基づく取り組みに対し支援する。
----	---	----	---

総合計画等 主な指標	R5実績	R6実績	R11目標
農業粗生産額(畜産含む)(年間)	251.7億円		

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R5		R6		
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)
						増減 (b)-(a)
特定財源	国費 ()					
	県費 (農村環境多面的機能向上事業費 3/4、10/10)	153,420	142,202	153,800		
	その他 ()					
一般財源		51,100	47,333	51,420		
新規・拡充	主な事業内容					
	多面的機能支払事業補助金	204,400	189,415	205,100		

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

3.令和5年度事業実績、評価等(Check) R6.8実施

事業実績	・農業の水源かん養機能や洪水防止機能等の維持・発揮のための地域活動や営農活動に対して支援 ・82組織 2,825ha
評価等	・新規参加により面積が増加した。地域資源の質的向上を更に図るため、共同活動の支援を引き続き実施していく必要がある。
次年度以降の考え方 (担当課)	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R5完了 ☐ R6完了予定 ・各地域の農地・農業用水等の資源や環境の保全と質的向上を図るために必要な事業であり、引き続き事業を実施していく。

5.令和6年度事業実績、評価等(Check) R7.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方 (担当課)	☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R6完了 ☐ R7完了予定

4.令和7年度予算編成(Action)

(千円)

R7予算		実施計画額	201,540
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減 (d)-(c)
201,840	201,540	201,540	△ 3,680
151,181	151,190	151,190	△ 2,610
50,659	50,350	50,350	△ 1,070
査定額	説明		
201,400	82組織		

※入れに影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

担当課 予算要求 ポイント	・農業・農村の有する水源涵養や洪水防止機能等の維持・発揮のための地域活動に対する支援に必要な経費を計上
---------------------	---

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定の 考え方	・財務部査定のとおり

事業シート(令和7年度予算)

事業名	54200 県営土地改良事業費				予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性		根拠計画	過疎地域持続的発展計画		
						款	5	農林水産業費			ポイント					
						項	4	農業土木費		分野別	政策分野	5	農業・林業・畜産業	市長公約	農林畜産業において最強の産地、産品を創出します ～農林畜産業に携わるなら「飛騨高山で」の地位を確立～	
						目	2	土地改良費			施策分野	(1)	特色を活かした生産地づくり			
担当課	農政部 農務課			内線	2229											

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・農業基盤である農地農道・用排水路等の整備を行い、農業経営の安定を図る。 ・農道橋耐震補強や防災ダム・ため池等の補強を行い、防災対策を図る。	概要	・県が事業主体となって農地農道・用排水路等の整備を行う。 ・市と地元受益者は、整備にかかる事業費の一部を負担する。
----	---	----	--

総合計画等 主な指標	R5実績	R6実績	R11目標
農業粗生産額(畜産含む)(年間)	251.7億円		

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R5		R6			(千円)	
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)	増減 (b)-(a)	
		87,630	83,918	134,980				
特定財源	国費 ()							
	県費 (中山間地域農業基盤整備事業費 10/10 等)	27,360	25,452					
	その他(土地改良事業費分担金)	17,731	11,766	20,488				
一般財源		42,539	46,700	114,492				
新規・拡充	主な事業内容							
	県営中山間地域総合整備	38,100	27,615	32,400				
	県営かんがい排水整備	9,600	7,023	33,780				
	中山間地域総合整備事業の受益者分担金に対する補助	21,510	19,938					
	県営土地改良事業	6,720	18,313	68,800				

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

3.令和5年度事業実績、評価等(Check) R6.8実施

事業実績	・県営中山間地域総合整備事業 南高山地区 用水路工事 清見荘川地区 用水路工事、排水路測量設計委託、防火水槽工事 ・県営かんがい排水事業 中根地区 用水施設工事 長倉地区 用水路測量設計委託 ・県営土地改良事業 小屋名第2ため池 ため池防災対策工事 小屋名橋 橋りょう耐震測量設計委託 久々野防災ダム 防災ダム測量設計委託 菅沢ため池 堤体土質調査委託	
評価等	・事業実施地区における農業施設の長寿命化を図ることができた。 ・県営事業の今後の実施について、事業の精査を十分に行う必要がある。	
次年度以降の考え方 (担当課)	・引き続き県と調整を行い、事業推進を図る。 ・基幹水路整備やため池等の防災減災対策など大規模な改修となる施設整備については、県と調整し事業化を推進する。	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R5完了 ☐ R6完了予定

5.令和6年度事業実績、評価等(Check) R7.8実施

事業実績		
評価等		
次年度以降の考え方 (担当課)		☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R6完了 ☐ R7完了予定

4.令和7年度予算編成(Action)

R7予算		実施計画額	139,430
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減 (d)-(c)
139,430	139,430	139,430	4,450
14,350	14,350	14,350	14,350
20,326	20,326	20,326	△ 162
104,754	104,754	104,754	△ 9,738
査定額	説明		
21,600	南高山、荘川清見		
39,930	中根、長倉、上野平、高原		
12,600			
61,800	小屋名第2、菅沢、小屋名橋、島橋、久々野防災、宮川防災		

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

担当課 予算要求 ポイント	・老朽化した農業土木施設の大規模修繕、長寿命化を進めるために整備する県営事業に対し必要な経費を計上 ・ため池や農道橋、防災ダム等の防災減災対策を進めるために整備する県営事業に対し必要な経費を計上
---------------------	--

財務部 査定の 考え方	・要求どおり
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり

事業シート(令和7年度予算)

事業名	54210 土地改良事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性		根拠計画	過疎地域持続的発展計画			
					款	5	農林水産業費			ポイント						
					項	4	農業土木費		分野別	政策分野	5			農業・林業・畜産業	市長公約	農林畜産業において最強の産地、産品を創出します ～農林畜産業に携わるなら「飛騨高山で」の地位を確立～
					目	2	土地改良費			施策分野	(1)			特色を活かした生産地づくり		
担当課	農政部 農務課		内線	2229												

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・土地改良施設の機能保持と長寿命化を図る。 ・小規模農家の多い中で、土地改良事業に伴う負担金を交付することにより、農家の経費軽減を図り、農業経営の安定化を促進する。	概要	・土地改良事業を実施した地区において、その施設の長寿命化等を図る取り組みに対して支援する。
----	---	----	---

総合計画等 主な指標	R5実績	R6実績	R11目標
農業粗生産額(畜産含む)(年間)	251.7億円		

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R5		R6			
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)	増減 (b)-(a)
		30,790	30,028	20,475			
特定財源	国費 ()						
	県費 ()						
	その他(土地改良施設維持管理適正化事業雑入、土地改良事業費)	24,100	24,024	13,600			
一般財源		6,690	6,004	6,875			
新規・拡充	主な事業内容						
	土地改良施設維持管理適正化事業負担金	5,790	5,785	5,975			
	土地改良施設維持管理適正化工事	25,000	24,243	14,500			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

3.令和5年度事業実績、評価等(Check) R6.8実施

事業実績	・飛騨東部高山荒神洞団地揚水機場ポンプ整備補修工事 ・大萱揚水機場ポンプ整備補修工事 ・農業用施設整備事業負担金(債務負担)支払 10件
評価等	・老朽化したポンプ施設について、更新を行い施設の長寿命化を図ることができた。 ・適正化事業の今後の実施について、引き続き十分に精査を行う必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R5完了 ☐ R6完了予定 ・土地改良施設の長寿命化を図るため、引き続き県及び土地改良事業団体連合会への働きかけを行う。

5.令和6年度事業実績、評価等(Check) R7.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R6完了 ☐ R7完了予定

4.令和7年度予算編成(Action)

R7予算		実施計画額	13,370
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減 (d)-(c)
13,367	13,370	13,370	△ 7,105
7,100	7,100	7,100	△ 6,500
6,267	6,270	6,270	△ 605
査定額	説明		
5,370	負担金		
8,000	糠塚揚水機場		

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

担当課 予算要求 ポイント	・老朽化した揚水機施設等の整備補修に必要な経費を計上
---------------------	----------------------------

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定の 考え方	・財務部査定のとおり

事業シート(令和7年度予算)

事業名	96230 過年農業施設災害復旧事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性			
					款	10	災害復旧費			ポイント			
					項	1	農林水産施設災害復旧費			政策分野			
					目	1	過年農業施設災害復旧費		分野別	施策分野			
担当課	農政部 農務課	内線	2229										

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・令和5年7月豪雨により被災した農地・農業用施設の災害復旧	概要	・農地・農業用施設の災害復旧
----	-------------------------------	----	----------------

総合計画等 主な指標	R5実績	R6実績	R11目標

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R5		R6		
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)
				20,000		
特定財源	国費 ()					
	県費 (農林水産業施設災害復旧費補助金 50/100(農地)、65/100(施設))			11,500		
	その他(地方債、地元分担金)			8,500		
一般財源				0		
新規・拡充	主な事業内容					
	災害復旧工事(令和6年5月及び9月豪雨)			20,000		

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

3.令和5年度事業実績、評価等(Check) R6.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R5完了 ☐ R6完了予定

5.令和6年度事業実績、評価等(Check) R7.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R6完了 ☐ R7完了予定

4.令和7年度予算編成(Action)

R7予算		実施計画額	－
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減 (d)－(c)
7,000	7,000	7,000	△ 13,000
3,500	3,500	3,500	3,500
2,100	2,100	2,100	△ 9,400
1,400	1,400	1,400	△ 7,100
0	0	0	0
査定額	説明		
7,000	債務負担		

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

担当課 予算要求 ポイント	・農地・農業用施設の災害復旧に必要な経費を計上
---------------------	-------------------------

財務部 査定の 考え方	・要求どおり
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり